

2016年セミナー基本コンセプト



—27th—

子どもの貧困から見える 親の働かされ方・働き方

2016年 **11**月 **12**日(土)・**13**日(日)

会場：沖縄県男女共同参画センター「ているる」他

参加費

2日参加: ¥3,500 / 1日参加: ¥2,000 / 学生: ¥1,000 (学生証提示)
交流会参加費: ¥5,000

12日(土)

全体会 / 13:30~18:00 交流会 / 18:30~20:30
会場: 沖縄県男女共同参画センター「ているる」ホール 会場: パシフィックホテル沖縄

記念講演

「子どもの貧困からみえてきた労働の問題を考える」
講師 浅井 春夫 氏(立教大学教授)

パネルディスカッション

「子どもの貧困から見える親の働かされ方・働き方」

13日(日)

分科会 / 9:00~12:30
会場: 沖縄県男女共同参画センター「ているる」、沖縄大学

in
沖縄

人間らしく働くための

人間らしく働くための九州セミナー in 沖縄現地実行委員会

27th 人間らしく働くための 九州セミナーin沖縄



《人間らしく働くための運動を育んできた九州セミナー》

働く人びとをめぐる情勢は厳しさを増し、雇用破壊、健康破壊、貧困が進行しています。労働環境悪化の中、働く人びとの命と健康を守るための学習・交流の場として「人間らしく働くために労災職業病九州セミナー」が1990年に開催され、今年で27年目を迎えます。2010年には「人間らしく働くための九州セミナー」と改称し、九州各地の組織や労働組合などの団体・専門家と連携し、「人間らしく働くための」運動を育んできました。

《今回の基本コンセプト》

初めて「子どもの貧困から見える大人の働き方」をテーマに掲げたのは、2011年開催の宮崎セミナーでした。あれから5年、労働環境は悪化し、子どもの貧困率も悪化しています。

開催地沖縄の子どもの貧困率は29.9%と、全国一位です。2030年には貧困率10%をめざした具体的な取り組みが始まっています。

未来を担う子どもたちの「貧困の連鎖」を断ち切るために、親である私たちの働かされ方・働き方を見直していく必要があるのではないのでしょうか。

「貧困の連鎖」を断ち切るため、私たちを守る働くルールや権利について学んでいきましょう。

《演題募集》 以下のテーマで演題を募集しています。

- 親の働き方と子どもの貧困
- 観光産業で働く労働者の健康権
- 大災害の中で働く人々の健康権
- 学校、職場、地域で働くルールを学ぶ
- 一人親世帯の働く環境について
- 働きながら介護を行っている人々の健康権
- 労働者のメンタルヘルスについて
- 職場でのいじめとハラスメント
- 病気になった労働者の休む権利・職場に復帰し働く権利
- 過労死等防止対策推進法と課題
- アスベスト問題
- じん肺・振動病など
- 非正規雇用と健康
- 格差社会がもたらす貧困と健康
- 医療・介護・福祉の現場から見た労働者の健康
- 外国人労働者の労働環境と健康
- 働く女性の健康
- 自営業・中小零細業者の健康
- 公務労働者の健康
- ヒューマンサービス労働者の健康
- 24時間社会・深夜労働と健康
- 原発労働者の健康

労働実態や日頃の取り組みをご応募ください。

エントリー締め切り 9月23日(金)

原稿締め切り 10月7日(金)